

NTクリスタルハードナー

「NTクリスタルハードナー」は、特殊珪酸塩を主成分としたコンクリート面用浸透性強化剤です。コンクリートやモルタル面に浸透し、緻密で強固な表面に改質することで防塵効果を発揮します。また、水系1液タイプで「揮発性有機化合物」(VOC)や「ホルムアルデヒド」などを一切含まない、環境に配慮した製品です。

環境 環境配慮タイプ	厚膜 厚膜タイプ	薄膜 薄膜タイプ	弾性 弾性タイプ	静電気 静電気帯電防止用	水性 水性形タイプ	速硬化 速硬化タイプ
防食 防食性	耐熱 耐熱性	防滑 防滑性 (工法により)	防塵 防塵性	33 アスコン面 施工可能	舗装材 カラー 舗装材	抗菌 抗菌タイプ

特長

- ①水溶性のガラス質成分がコンクリート内部に浸透することで、セメント成分のCa(OH)₂と結合します。その結果、コンクリート表面を強化し、より緻密で耐久性に優れた強度ある表面を形成します。
- ②コンクリート表面強化による防塵効果でコンクリート特有の白い粉塵を抑制し、日常のフロアのメンテナンスを軽減します。
- ③無色透明のため、コンクリートの素材感を生かした意匠仕上げが可能となります。
- ④水系1液タイプのため、希釈せずに使用できます。新設コンクリートに使用が可能です。
- ⑤厚生労働省室内濃度指針値が設定されている13種の化学物質を使用していません。
- ⑥鉛、クロムを使用していません。
- ⑦新設コンクリートの物流施設、貨物ターミナル、スーパーマーケット、フリーアクセスフロア、二重床下地などに適しています。

主な用途

- 車両・フォークリフトなどの通行床
- 台車・手押し車などの通行床
- 冷蔵倉庫・冷凍倉庫
- 駐車場・駐輪場(コンクリート面)
- 展示場(コンクリート面)

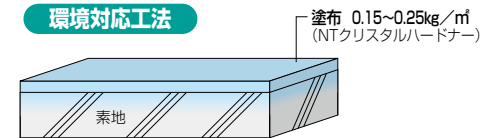
荷姿

- NTクリスタルハードナー……18kg

色彩



工法



●本工法以外については、最寄りの営業所までお問い合わせください。

※表面に余剰分が残る場合は、モップなどを用いて水洗いを行ってください。

NTクリスタルハードナー 希釈剤・希釈率・施工間隔(23℃)

製品名	希釈剤	希釈率	施工間隔
NTクリスタルハードナー	無希釈	—	30分以上1時間以内 歩行可能…5時間以上 養生期間…24時間以上

試験成績

試験項目	試験結果		試験法
	NTクリスタルハードナー	無塗布コンクリート	
摩耗質量	0.10g 1.60g	0.42g 3.24g	JIS K 7204/テーバー摩耗試験機(摩耗輪CS-17 9.8N荷重 500回転) JIS K 7204/テーバー摩耗試験機(摩耗輪H-22 9.8N荷重 500回転)
すべり抵抗性※1	0.79 (乾燥面)	0.75 (乾燥面)	日本塗布床工業会試験法/C.S.R (すべり抵抗係数)

※1 すべり抵抗性の数値は2ページの「C.S.R.値とすべりの程度の関係」をご参照ください。

●耐薬品性については「耐薬品性能一覧」をご参照ください。なお、数値は代表値であり、保証値ではありません。

ニットクの塗り床材

ユータックシリーズ 薄膜タイプ

【改訂第8版】

JIS K 5970 建物用床塗料認証品

■認証番号 JP0309002

- ユータックE-40
- ユータックR
- ユータックS
- ユータックAY
- ユータックWE-400N
- ユータックECプライマー
- NT水性速乾プライマー
- ユータック水性カチオンプライマー

- エポキシ樹脂溶剤形・薄膜タイプ(2液)

ユータックE-40

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- ポリウレタン樹脂溶剤形(アクリルウレタン樹脂溶剤形)・薄膜タイプ(2液)

ユータックR

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- ポリウレタン樹脂弱溶剤形(アクリルウレタン樹脂弱溶剤形)・薄膜タイプ(2液)

ユータックRマイルド

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)
一般社団法人日本塗料工業会登録番号=N03230

- ポリウレタン樹脂溶剤形(アクリルウレタン樹脂溶剤形)・薄膜タイプ(2液)

ユータックS

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- アクリル樹脂溶剤形・薄膜タイプ(1液)

ユータックA

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- 特殊アクリル樹脂溶剤形・薄膜タイプ(1液:既調合型)

ユータックAY

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- ウレタン樹脂溶剤形・薄膜タイプ(1液)

ユータックTMプロテクト

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)
一般社団法人日本塗料工業会登録番号=N03238

- ポリウレタン樹脂水性形(アクリルウレタン樹脂水性形)・薄膜タイプ(2液)

水性ユータックFT

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)
一般社団法人日本塗料工業会登録番号=N03229

- エポキシ樹脂水性形・薄膜タイプ(2液)

ユータックWE-400N

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- 特殊変性アクリル樹脂水性形・薄膜タイプ(1液)

水性ユータックSi

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)

- 特殊珪酸塩系水性形・防塵タイプ(1液)

NTグノスタルハードナー

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド規制適合品/室内使用無制限)
一般社団法人日本塗料工業会登録番号=N03180

ユータック素地調整仕様

理想的な表面仕上げを行うためには、確実な素地状況の確認と素地調整が必要です。下地の状況(強度・乾燥状態・表層状態・仕上精度・構造)によっては、塗り床材としての本来の性能が発揮されない場合があります。

素地

- ①素地のモルタル、コンクリートは金ゴテで平滑に仕上げてください。
- ②コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。
 - 表面強度……1.5N/mm²以上
 - 圧縮強度……21N/mm²以上
- ③打設後の養生は充分に行ってください。
 - コンクリート……夏季(打設後3週間以上)、冬季(打設後4週間以上)
 - モルタル……夏季(打設後2週間以上)、冬季(打設後3週間以上)(ケツト科学水分計 HI-500または520-2 コンクリートレンジの表示値が5%以下)
※デッキプレートなどに打設した場合は乾燥が遅れますので、さらに乾燥養生が必要となります。
- ④コンクリート、モルタルの下から、水や湿気が上昇するような構造の場合は防湿層が必要となります。

素地調整

- ①表面は凹凸のないよう平滑にしてください。
- ②表面のレイトンスは研削機(ライナックスなど)やポリッシャーなどの研磨機で除去してください。
- ③素地の欠損部は施工に適した素地調整材を用いて平滑にしてください。
- ④素地の油脂やゴミ、ほこりなどは完全に除去してください。
- ⑤素地の吸い込みが激しい場合はプライマーを十分に浸透させ、目止めになるように塗布してください。
- ⑥素地の水濡れ、屋外での雨天時の施工は塗膜のフクレ、剥離、硬化不良の原因となりますので絶対に避けてください。
- ⑦水を使用する箇所では水勾配をコンクリート、モルタルなどで取ってください。

●レイトンスとは……

コンクリートの骨材中の泥やセメントに含む粘土が浮き水で上昇し、乾燥固化した粉状の層であり、皮スキなどでこすると簡単に取れます。このレイトンス層は塗料との付着性を阻害し、剥離を起こす要因となります。



強化コンクリート・緻密コンクリート・アスコン(アスファルトコンクリート)

■強化コンクリート

着色された鉋物系コンクリート(カラーコンクリート)は非常に強度があり、表面が緻密なコンクリートです。これらの強化コンクリートは塗料を吸い込みにくく、付着性が悪く簡単に剥離する可能性があります。そのため、物理的に付着性を向上させる必要があり、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

■緻密コンクリート

コンクリート打設時に機械押さえ処理を行った場合やコンクリートへの水の配合比が少ない場合などは、下地の表面が緻密になる傾向があります。その場合、コンクリート表面に艶が生じ、上記と同様に塗料が吸い込みにくく、塗料の付着が弱くなるため、研削機(ライナックスなど)やブラストなどで表層を研磨し、表面を粗面にする必要があります。

■アスコン(アスファルトコンクリート)

※塗り床材の種類・用途により、施工可能なものと不可能な場合があります。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。

●素地

- ①アスコンは密粒アスコンとし、凹凸のないように均一に打設してください。
- ②アスコン施工時の転圧は充分に行い、強度のある下地を形成してください。
- ③新規打設の場合は1週間以上の養生期間をとるようにしてください。
- ④アスコン転圧時の油分が付着または残っていないようにしてください。
- ⑤降雨などにより、下地の水分が多い場合は充分に乾燥させてください。

●素地調整

- ①泥などの汚れ、異物が付着している場合は、すべて除去後に表面を清掃してください。
- ②5mm以上の段違いがある場合は、あらかじめ補修してください(別途に費用が必要となります)。

ユータック改修下地調整仕様

改修下地の品質

項目	品質	不具合の可能性
素地表面強度	1.5N/mm ² 以上(建研式接着力試験機)	剥離、フクレ
素地圧縮強度	21N/mm ² 以上	凹み
既存塗膜の付着強度	1.0N/mm ² 以上(建研式接着力試験機) ^{※1}	剥離
素地含水率	5%以下(ケツト科学水分計HI-500またはHI-520-2のコンクリートレンジ)	剥離、フクレ、発泡
表面状態	油分など付着阻害物質が除去されていること	剥離、フクレ、ハジキ、しわ

※1：既存塗膜の付着強度は、改修材料、使用目的により基準は異なります。
また、塗り重ねを行う塗り床材との組み合わせにより、既存塗膜の撤去が条件となる場合があります。

改修下地調整方法

■強化コンクリート素地

- カラーコンクリート……………コンクリート一体型の着色がされている。
- 金属系コンクリート一体型工法……………コンクリート表面に金属フレークが見える。
- 表面強化剤……………表面に光沢があり、水分がしみ込まない平滑な床面
研削機(ライナックスなど)やブラストによる研磨が必要となり、プライマーの付着試験が必要です。

■湿潤面

送風機や換気扇などにより通風を良くし自然乾燥を行ってください。工期の制約がある場合、ジェットヒーターやバーナーなどで強制乾燥を行ってください。素地の脆弱層は研磨を行ってください。
*水分を使わない場所で、素地の濡れ色や既存塗膜裏面に湿潤が確認された場合は、施主、元請と協議を行い防湿層、水路の確認を行ってください。

■油潤面

固化した油分をケレン除去した後、動植物油はアルカリ性洗剤や専用薬剤で、機械油は中性洗剤や専用薬剤でそれぞれ除去してください。素地に染み込んでいる場合は、はつり機で含浸層を撤去してください。
*素地の脆弱化が進行しているため、健全な層まで研削を行ってください。

■ひび割れ

ひび割れに沿ってUまたはVカットを行ったのち、樹脂モルタルや樹脂パテで埋め戻しを行ってください。微細なひび割れは、樹脂パテで埋め戻しを行ってください。
*動きのあるひび割れや深いひび割れ箇所は、露出仕上げとしてシーリング材などで仕上げを行ってください。

■ワックス塗布

ユータックEシンナーなどを既存塗膜面に少量たらし、指でシンナーがなくなるまでラビングを行ってください。シンナーが完全乾燥したのち、ラビングした外周が白くなった場合、ワックスが塗布されています。
*ワックスリムーバーなどを用いワックスを除去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリリッシャーによる目粗しを行ってください。

■既存塗膜

既存塗膜の種類を確認し、不具合箇所を撤去したのち、研削機(ライナックスなど)やポリリッシャーによる目粗しを行ってください。

■※1 C.S.R.値とすべりの程度の関係

C.S.R.	すべりの程度
1.0以上	きわめてすべらない
1.0未満～0.8以上	かなりすべらない
0.8未満～0.6以上	あまりすべらない
0.6未満～0.4以上	すこしすべる
0.4未満～0.2以上	かなりすべる
0.2未満	きわめてすべる

注/評価範囲は上限数値以下で、下限数値を含みません。

■※2 BPN測定値(ポータブルスキッドレジスタンステスター)とすべり程度の関係

濡れた路面すべり抵抗	すべり抵抗標準
65以上	良好：高速走行でも必要条件を満たしすべり事故を繰り返さないようなところ
55以上	概して満足：非常に悪い条件がなければ満足できる。
45以上	良好な環境条件においてのみ満足
45以下	著しくすべりやすい

ユータック用途別品種一覧表

●=おすすめできる場所 ○=使用可能な場所

本一覧表は代表的な目安として記載しております。「●=おすすめできる場所」「○=使用可能な場所」を記載しております。●印の工法でも、とくに弊社が塗膜性能・コストを含めてお勧めします工法は **推奨工法** 印を表示しております。ご不明な点は、お気軽に最寄りの営業所までお問い合わせください。

		ユー タック スー パ一 F ハ一 ド N	ユー タック F E コ	N T ス プ レ一 タイ P H	ユー タック E I 30 E C O	ユー タック E I 30 N	ユー タック E I 30 N ロ一 ラ一 用	ユー タック ク イック E I E 2	ユー タック オ リ ゴ マ一	ユー タック オ リ ゴ マ一 低 臭	ユー タック V E I 100 ・ V E I 200
各種工場床 右記以外の使用個所につきましても各種の仕様をそろえています。	印刷工場(インク・溶剤などの使用個所)	○			○	○	○				●
	製薬工場(薬品などの使用個所)	●	●		●	●	●		○	○	●
	食品製造加工工場・清涼飲料水工場	○			○	○	○	○	○	○	
	醸造工場	○			○	○	○	○	○	○	●
	機械・部品組立工場・整備工場(機械油などの使用個所)	●			●	●	○				
	弱電工場・精密工場(クリーンルーム)	●			●	●	○				
	化学薬品工場・メッキ工場(化学薬品などの使用個所)	○			○	○	○		○	○	●
	工場の各種廃液処理施設(廃液処理槽・防液堤)				○	○					●
工場の事務所・更衣室・食堂・廊下	●	●		○	○	○					
倉庫・搬送床	車両・フォークリフトなどの通行床	●			●	●	○				
	台車・手押し車などの通行床	●			●	●	●				
	冷蔵倉庫・冷凍倉庫	○			○	○			○	○	
教育・福祉施設・ 病院・集合住宅・ 事務所・ バックヤード	手術室										
	研究施設・実験室	●			●	●	○				○
	学校・病院・事務所・ホール・店舗・内部階段・廊下・食堂	●	●	●	●	●					
	バックヤード	●			●	●			●	○	
	マンション開放廊下・エレベーターホール	●	●	●							
	機械室・電気室	○			○	○	○				
	厨房・給食センター・洗浄室	○			○	○			○	○	
	遊歩道・遊園地・広場・公園・エントランス								●		
ギャラリースタンド・ 遊歩道・ 駐車場・駐輪場・ 展示場	アスコン面								●		
	コンクリート面								●	●	
	ギャラリースタンド	●	○	●	○	○					
	体育館		●								
	駅のプラットホーム・コンコース	○		○	○	○			●	●	
	歩道橋・地下道								●		
	アスコン面								●		
	コンクリート面								●	●	
	ゴルフ場歩径路・ジョギングコース										
	アスコン面								○		
コンクリート面	○			○	○			○	○		
展示場	アスコン面								●		
	コンクリート面	●		●	●	●			●	●	
景観舗装	アスコン面								●		
	コンクリート面								●	●	

耐薬品性能一覧表

○=7日間浸漬／異常なし ◎=14日間浸漬／異常なし ●=30日間浸漬／異常なし

		ユータックE-40	ユータックR	ユータックRマイルド	ユータックS	ユータックA	ユータックAY	ユータックTMプロテクト	水性ユータックFT	ユータックWE-400N	水性ユータックSi
酸類	塩酸(5%)	●	●	●	●	—	—	●	◎	●	—
	硫酸(5%)	●	●	●	●	—	—	●	◎	●	—
	硝酸(5%)	●	●	●	●	—	—	●	◎	●	—
	磷酸(5%)	◎	●	◎	●	—	—	●	◎	—	—
	酢酸(5%)	◎	●	◎	●	—	—	●	—	—	—
	蟻酸(5%)	◎	●	◎	●	—	—	—	—	—	—
	クエン酸(5%)	◎	●	◎	●	—	—	—	—	◎	—
	乳酸(5%)	◎	●	◎	●	—	—	●	—	—	—
アルカリ類	次亜塩素酸ソーダ(5%)	○	○	○	○	—	—	●	◎	—	—
	飽和石灰水	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	●	◎
	アンモニア水(5%)	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	●	◎
	水酸化ナトリウム(5%)	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	○	◎
	塩化カルシウム(5%)	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	●	◎
溶剤	ミネラルスピリット	●	●	●	●	—	—	●	◎	●	—
その他	飽和食塩水	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	●	◎
	水道水	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●
	サラダオイル	●	●	●	●	—	—	●	◎	●	—
	モーターオイル	●	●	●	●	◎	◎	●	◎	●	◎
	砂糖水(60%)	●	●	●	●	●	●	●	◎	●	●
	灯油	—	●	●	●	◎	◎	—	◎	●	◎
	ガソリン	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—
	重油	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—

ユータック薄膜タイプ 注意事項

■施工下地の注意事項

- コンクリート、モルタルの打設後の養生期間は、夏場3週間、冬場4週間を目安としてください。
- コンクリートは、十分に乾燥していることを確認してください。〔ケット水分計：HI-520シリーズ〕のコンクリートレンジの表示値5%以下が目安です。
- 強化コンクリートやカラーコンクリート、フェロコン、機械仕上げの緻密なコンクリートなどへ施工する場合は、研削機や研磨機などで十分に目粗しを行い、専用プライマー（ユータックカラコンプライマーなど）をご使用ください。
- レイタンスや既存塗膜、脆弱な下地は、ライナックスなどの研削機やポリリッシャーなどの研磨機で除去し、清掃を行ってください。
- 施工するコンクリート床面の下に防湿層があることを確認してください。防湿層がない場合、フクレが発生する場合があります。
- ゴミ、ホコリ、油脂類は、完全に除去してください。
- 欠損部、段差などの凹凸部分は、必要に応じて珪砂などを混合したユータックE-30NやユータックE素地調整材ECOグレーなどを使用して平滑にしてください。
- ひび割れがある場合、そのまま材料を施工してもひび割れを隠すことができません。また、塗装後に今まで見えなかったひび割れが見えるようになる場合があります。このため、あらかじめ下地を確認し処理を行ってください。
- 薄膜塗装にて塗装する場合、コンクリート表面状態（凹凸やひび割れなど）やパテなどの処理状態がそのまま出る場合があります。また、目粗しの跡（研磨跡）が見える場合があります。下地処理には充分注意すると同時に、顧客への説明を行ってください。
- シリコン系の材料やワックスが施工面に無いか確

認してください。これらの成分が床面にあったり、塗装作業の近くでシリコン系スプレーが使用され塗装した面に付着するとハジキなどのクレームにつながります。

- 新設、改修工事ともに、下地処理は必ず行ってください。ユータック素地調整仕様、改修下地調整仕様および注意事項を必ずお読みください。

■施工上の注意事項(各塗料共通)

- 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。水性塗料は低温になると乾燥が遅くなります。
- ユータックE-40、ユータックWE-400Nなどのエポキシ樹脂塗料は、5℃以下では極端に硬化が遅くなります。
- ユータックR、S、Rマイルド、E-40、WE-400N、水性ユータックFTは、高湿度下では塗膜表面が艶引けや白化するケースがあります。
- エポキシ樹脂は耐候性性能が低いため、屋外での使用は行わないでください。
- 仕様書に書かれている可使用時間、施工間隔、使用量は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより幅を生じることがあります。
- 規定の使用量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の使用量を守って塗装してください。
- 塗料は調合前に電動攪拌機などで十分に攪拌してください。A液とB液、希釈剤は秤を使用し指定の割合で調合して、電動攪拌機などで混合攪拌してください。
- 塗料を小分けして使用する場合は、あらかじめ塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量し塗料の調合を行ってください。
- 塗料の希釈は指定の希釈剤を必ずご使用ください。希釈剤の種類によっては粘度低下が激しくなっ

り、乾燥速度に違いが生じたり、また本来の色や艶がでない場合があります。

- NT水性速乾プライマー、ユータックWE-400N、水性ユータックFTは、可使用時間が短いため、時間内に使用できる量を調合してください。可使用時間は厳守してください。可使用時間を過ぎた場合、付着不良や艶ムラ・色ムラなどの不具合の原因となります。
- 改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により既存塗膜を侵しリフティング（塗膜のチヂレ）やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上、塗装仕様を決定してください。施工の際は、必ず下地処理を行ってください。
- 吸い込みの多い下地の場合には、下塗りを増し塗りしてください。素地の状態によっては、下塗りで記載している以上の量を使用する場合があります。
- 薄膜シリーズの塗料は使用量が少ないため、吸い込みや、下地処理の違いにより、仕上りムラが発生する場合があります。
- 防滑仕様は、防滑性能を保証するものではありません。降雨後や塗膜表面に水やオイルなどがある場合滑ることがありますのでご注意ください。
- プライマーは塗り残しのないように塗装してください。風化面、吸い込みの多い下地の場合には、プライマーを増し塗りしてください。
- プライマーは下地の状況により、使用量が規定量以上になる場合があります。プライマーの使用量は塗れ色になるまでを目安としてください。
- プライマーは、一度に厚塗りせず、たまりがでないように施工してください。たまりができると剥離の原因になります。
- 希釈率は、試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈率は色や施工条件により変化しますのでご了承ください。

- 艶を調整した製品(ユータックSなど)は、艶消し剤が沈降している場合や塗料が分離している場合があるため、攪拌機を用いて十分に攪拌し、均一な状態にして塗装してください。
- 艶を調整した製品(ユータックSなど)は、下地の状態や希釈量、塗装間隔、膜厚、塗り重ねによりムラが生じることがあります。実際に希望している艶と異なる場合がありますので、必ず艶を確認して、塗装条件をなるべく同一条件にして塗装してください。
- 艶有の防滑仕上げにおいて、防滑骨材の量や骨材の頭出しとその使用量により部分的に仕上り差を感じる場合があります。ご注意ください。
- 色相によっては2回塗りでは隠べいしない場合があります。その場合は、一度に多くの使用量で塗装せず、塗装回数を増やしてください。
- 骨材を塗料に調合した場合、缶中で骨材が沈降する場合がありますので、攪拌した塗料は手早く塗装してください。また、かき混ぜながら塗装してください。
- 粗面仕上げのトップコートや防滑仕上げは表面に微細な凹凸ができるため塵埃が溜まりやすくなります。
- 施工後、硬化乾燥中に昆虫やゴミなどが付着する場合がありますので戸締りなどの対策を行ってください。
- 溶剤やモノマーなどの蒸発や樹脂の臭気などが周辺にある物に付着する場合があります。塗装周辺のものには室内から移動し、臭いをつかないような対策を行ってください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいます。溶剤やモノマーなどの蒸発や樹脂の臭気などが近隣に影響を与える場合があります。あらかじめ元請けや施工主への説明と近隣住民への説明を行い、了解を得てください。
- 塗料には、湿気と反応する成分が含まれているものもあります。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また開栓後はできるだけ早めにご使用ください。指定希釈剤以外の混入は絶対に避けてください。
- 本製品は貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また開栓後はできるだけ早めにご使用ください。指定希釈剤以外の混入は絶対に避けてください。
- 自然換気ができない密室などの施工においては強制換気が必要です。適用法令に従い適切な換気装置の設定、作業主任者の選任、適切な保護具の着用などの対応を行ってください。
- 各溶剤系塗料の室内での使用は、特定化学物質障害予防規則の対象となります。同規則に従い作業主任者を選任するなど、法令遵守をお願いします。
- 学校や病院関連では、施工後にVOC室内濃度測定が指定されている場合があります。それぞれに指定された物質を含有しない塗料や希釈剤を使用して施工してください。

【NT水性速乾プライマー】

- NT水性速乾プライマーA液、B液は有効成分が沈降することがあるので、ご使用前にそれぞれ均一に攪拌してから、A液とB液を混合してください。
- 可使用時間を過ぎると付着性が著しく低下しますので絶対に使用しないでください。

温度	5~15℃	15~30℃	30~35℃
可使用時間	4時間	3時間	2時間

- A液とB液混合後の可使用時間の管理は、必ず時間で行ってください。可使用時間を過ぎても粘度などの性状は変化せず、目安にはなりませんのでご注意ください。
- 上塗可能時間の前に塗装すると、チレシなどの外観不良につながります。指触乾燥していても、上塗り可能時間を厳守してください。

温度	5~15℃	15~30℃	30~35℃
上塗り可能時間(施工間隔)	5時間以上 48時間以内	4時間以上 48時間以内	3時間以上 48時間以内

- 施工後48時間を経過した場合は、目粗しを行ってください。

【水性ユータックSi】

- ユータック水性カチオンプライマーと上塗りの塗料を混合すると、ゲル化、フツ発生などの原因となります。塗装の前には塗装器具を水で十分に洗浄してください。
- 小分けして使用したユータック水性カチオンプライマーは元の製品が入っている石油缶に戻さないでください。

【水性ユータックFT】

- 必ず換気設備を設置・稼働したうえで施工後の養生を行ってください。空気の流れがなく密閉された環境で養生を行うと、光沢の低下、硬化不良が発生する場合があります。
- 上塗りの2回目などで塗装間隔の時間を越えた場合は、目粗しを行うか、NT水性速乾プライマーを塗装したのちに塗装をしてください。
- 水で過剰に希釈すると、塗膜が白化したり、付着不良を起こしたりすることがあるのでご注意ください。
- 上塗り可能時間の前に塗装するとチレシなどの外観不良が発生する場合があります。指触乾燥が終わっても、施工間隔を厳守してください。上塗りの外観不良の原因となります。
- 既存塗膜に直接塗装する場合は、既存塗膜が付着していることを確認し、試験施工を行い問題が無いことを確認してからご使用ください。施工の際は、必ずポリリッシャーなどによる研磨などの下地処理を行ってください。

【ユータックWE-400N】

- 必ず換気設備を設置・稼働したうえで施工後の養生を行ってください。空気の流れがなく密閉された環境で養生を行うと、光沢の低下、硬化不良が発生する場合があります。
- 可使用時間を過ぎると付着性が著しく低下するため、必ず時間内に施工してください。
- 気温30℃以上では可使用時間が2時間となるため、注意してください。
- 施工後48時間を経過した場合は、目粗しを行ってください。

■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミスト

や蒸気を吸い込まないようにしてください。

- 取り扱い作業中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- エポキシ樹脂系塗料など塗料によっては体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。感作された場合、その後の当該物質にばく露されることにより再度皮膚障害などの障害を引き起こす場合があります。このため、医師の指導を受け健康障害防止のために必要な措置を講じてください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。また、塗装後は、揮発成分が部屋に滞留しないようにし、十分に乾燥させ、換気したのちにご使用ください。
- ウレタン樹脂系のB液(ユータックR、S、Rマイルドなど)は水分と反応し固まります。保管中や休憩中は必ずフタをしてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光を避け、雨や雪などにより水に濡れないような、室温5℃以下、35℃以上にならない屋内で保管してください。水系塗料は凍結を避けてください。
- 溶剤塗料などのフタを開ける際は、溶剤などの影響により缶の内圧が上がっている場合があります。開栓時は、十分に気を付けてください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品をお取り扱いの場合は、消防法や労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行ってください。また、輸送時も消防法や道路運送車両法、船舶安全法、港則法などを遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
中部営業所 〒472-0006 愛知県豊田市山町東並木北12	☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroyco.jp/>

UTU-0623J-S #8(#12)[2023年6月作成] 定価250円(税抜き)